
最強の辿り着く先——英雄の少年——

黒蝶 白夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最強の辿り着く先——英雄の少年——

【Nコード】

N8505X

【作者名】

黒蝶 白夜

【あらすじ】

独りの英雄が後悔をしながら、学校に通い、そこで、失ったものを取り戻す。

しかし、それでも、彼は戦いに巻き込まれ行く。

英雄の少年は何を思うのか。

最強の辿り着く先を消して、新しく書いてみました。

プロローグ

俺は……………どうして、●●になったのか？
後悔しても遅いのに……………
最強を目指していたあの頃……………
あの頃に戻れたら……………
俺は……………

ガッ、ドーン！！

ガキーン！！

バキッ

「……………くそ、折れたか。だがっ！！」

——俺は、どうして戦っているんだ？——

キーン キーン ガキーン！！

——俺は、沢山の人を殺した——

グサッ、ザシュッ、ドサッ

——殺した人の数百倍の人を助けた——

「……………俺は……………また……………人を……………」

——殺して、殺して、殺し尽くした——

「……………なりたかった●●になって、俺は……………後悔してばかりだ……………」

——●●は一度も負けず、不敗を誇り、敗走は一度も無い……………
……故に、●●は独り——

「……………戦争は、終わった……………けど、俺は、また仲間を失った……………」

「お前との、約束を守れなかったな……………
お前と一緒に学校に通うなんて、約束を……………」

●●は、独りまた、生き残った。

戦争に参加した者——20億人

死者——9億人

負傷者——10億人

人々はこの戦争で喪ったものは多く、獲たものは無い。

故に、この戦争は——

失いの戦い（ロスト コンタクト）——と呼ばれた。

この戦争の6年後、●●は仲間との約束を守り学校に通う。

第1話

真新しい制服を着た、少年少女が道を歩いていた。彼ら彼女らは世界的に有名な高校『ユーディアル学園』に入学試験を合格した者達なのだ。この学校は、魔法が使えるのが前提で、魔力値が10000を越えていなければ入学試験すら出来ないのだ。

一般人は普通魔力値が1000を越えていれば優秀な方に入るので、これから考えてみれば普通は無理なのだ。

その中に一際目立つ少年が居た。

髪の色は白で顔は、十人中十人がカッコ良いと言う容姿で、右目は眼帯によって隠されているが、左目は黒色。背は、170センチぐらい。

そんな少年が、何故目立つと言うと制服を来ていないからだ。普通は制服を着て来るはずなのに、私服で来ている。

だから、少年は目立っていた。

少年はそんなの関係無いと言う様に歩いている。まさしく、傲岸不遜とはこの事だろう。

そんな少年に、ある1人の生徒が突っ掛かってきた。

「お前、ふざけているのか！ここが何処だか解っているの！！」

と突っ掛かってきた少年がそう言ったが、少年の方は、

「ここは、学校だろ？」

と言って、なに言っているんだこいつ？と言った顔をしている。

そんな態度と発言に、突っ掛かってきた少年は、ついにキレってしまった。

「お前、殺す!!」

そう言っ、魔法を使おうとしたが後ろから取り押さえられていた。

「何をやっているんですか？学校内では魔法は使うことは禁止されていますよ。」

と言われた少年は、言った人物を睨めつけようと振り返った。が、その人物を見た瞬間顔を青くしていた。見ている方の少年は、どうして顔を青くしているんだと疑問に思ったが、すぐに解決した。何故かと言うと、取り押さえられている少年が

「す、すい、すいません。生徒会長。」

だけど、こいつがいけないんです。こいつが制服をしつかりと着てくれば……………」

「何を言っているの……………」

言いながら、こっちを見た瞬間に、生徒会長と呼ばれる人は目を見開いて、少年の事を見詰めていた。少年も生徒会長と呼ばれる人を見詰めていた。それから、10秒ぐらい経ったとき生徒会長と呼ばれる人が動き出した。目には涙を浮かべながら、少年に

「…やっと、見つけました。どうして、居なくなったりしたのですか？」

その言葉に、近くにいた新入生、新入生を誘導していた在校生が、驚いていた。それもそうだ。在校生はこの生徒会長と知り合いで、尚且つ、こんなにも親しい関係にある人物となると、この学校には片手で数えられるほどしかいないと驚いていて、新入生はこんなに

黒夜 side

俺と風姉さんが兄弟だと解ってしまったのだから。しかし、みんなは勘違いをしている。

それは、俺と風姉さんは本当の兄弟ではない事だ。勘違いされたままなのは嫌なので、正しておく。

「皆さん、勘違いしてると思うんですけど俺と風姉さんは血が繋がった訳じゃないんですよ。」

そういつて、壊れている風姉さんを戻すために俺は、抱き締めて耳の近くで

「俺は好きな人は居ないよ。だから、そんなに壊れないで。」

と言った瞬間に風姉さんは復活を果たした。

ここで風姉さんの説明をしよう。

髪の毛の色は漆黒で、顔は十人中十人が綺麗だと言うような容姿で目の色は、両目とも青色。背は、150センチぐらい。

性格は、穏やかで優しいが弟の黒夜の事になると、ヤンデレになっってしまうことも。

現在はユーディアル学園の2年生。

復活したのを確認したあとに、体育館を目指した。それを見た新入生達は急いで自分達も向かいだした。

入学式が終わって、数日後。

今俺は、先生の話聞いてる。

「今は、皆さんが普通に使っている魔法ですが、5つの属性と、2つの属性、5つの属性から発生する5つの属性、そして、忘れ去られた魔法と呼ばれる4つの属性があります。

5つの属性とは『火・水・土・風・雷』の事です。

2つの属性とは『光・闇』の事です。

皆さんは、普通この中から使える魔法を選んで、伸ばしていきます。使える属性は、人それぞれですが、普通は1個使えばいい、この学園は、最低2つ以上使えなければ行けません。世界には、最高7つの属性を使うことができる人が居ました。

しかし、属性に関しては才能の問題なので、私達にはどうにもできません。

魔力値は努力すれば上がります。

次は、5つの属性から発生した属性で

『炎・氷・自然・天空・電雷』の5つです。

これは、極たまに、発生する魔法です。

これを使えるようになると、最初の5つとは比べ物にもならないほどの力を発揮できます。

最後に、忘れ去られた魔法は

『時間・空間・創造・無』の4つの属性です。

だけど、これは使える人は現在、存在しないのですよ。故に、忘れ去られた魔法と呼ばれるのです。

魔法の事はこれで終わります。

次は、6年前の戦争の事です。

6年前、世界は魔物と呼ばれる、怪物が急に私達の世界『ウェーザール』に攻めてきました。

私達は、20億人の人を戦争に出しました。しかし、駄目でした。どんどん魔物に押されていき、世界が終わる、と言うときにある1

5人の人が現れたのです。その人達は、とても人間とは思えないほどの速さで魔物達を倒していきました。

しかし、あと少しで全滅する魔物軍に15人のうち1人を殺されてしまいました。

14人は悲しみました。でも、魔物軍は待つてはくれません。

14人で魔物軍は倒されました。14人の中でも更に王の座についていた1人は突然と姿を消してしまいました。

これが、6年前の戦争の事です。」

「授業がやっと終わったな。」

そして、俺は次の教科を机の上に出した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8505x/>

最強の辿り着く先——英雄の少年——

2011年10月26日09時02分発行